

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	チェリッシュあおぞら保育園
施設所在地	墨田区緑4-38-1
法人名	株式会社チャイルドステージ

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然に触れながら、野菜や稲が育つ様子を知る

<テーマの設定理由>

農園体験や日々の食育教室、週に1回の農園長の野菜配送に携わることで、野菜や稲がどのように生長していく興味を持つ子が増えた。  
自分たちで調べたり収穫したりしながら、周りの季節の移り変わりや育って行く中での自然の大切さに気付いて欲しいという願いからテーマを決めた。

## 2. 活動スケジュール

5月：1回          7月：1回          9月：1回  
11月：1回        12月：1回        ※毎週水曜日、農園長との交流

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

iPadやパソコン、絵本ホールにある図鑑を利用し調べたり、記録に残したりした。

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

5月：田植え                      7月：川遊び、収穫体験                      9月：稲刈り  
11月：芋ほり                      12月：お餅つき

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(5月) 水の冷たさや、土の感触を全身で感じながら田植えをした。少しずつ慣れ夢中になって植えていた。水に浮かぶ虫を見つけては、友達と顔を覗き込んで見てみたり、触れたりしていた。

(6月～9月まで) 自分たちが植えた稲の様子を継続的に写真で確認し、生長を見守る。それと共に、田んぼの周りの景色が変わっていく様子に気付き、友達や保育者と自分の気づきを共感し合っていた。

(7月) 田んぼの近くの川で遊んだ。5月よりも水が温かいことを、外が暑いからだねと話す様子が印象的だった。また、その時に稲の様子も直接目にすることが出来た。その頃には、子ども達の背丈よりも大きく成長しており驚いていた。

(9月) 稲刈りをした。田植えの時にはいなかった、とんぼがたくさん飛んでいるのを見て、保育園で歌っていた「あかとんぼ」を思い出し口ずさんでいた。5歳児はとんぼが秋におおくなると言い、季節が変わっていくことを口にしていた。

(11月) 田んぼの近くの農園にて、冬野菜を収穫した。その際に、近くの山の色が変わっており、緑色じゃなくなったねと話をしていた。また、雨があまり降らなかった事で例年よりも野菜の生長が遅れている話を聞き、お天気だと野菜が沢山育つと思っていた子ども達は、お天気過ぎても良くないんだねと気付きを共感していた。

(12月) 育てた稲はもち米の稲だったので、それを使って餅つきをした。自分たちが関わってきたという事もあり、みんな喜んでいた。またもち米が餅に変わっていく様子を見て不思議がったり匂いをかいでみる子もいた。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

今回の活動を通して、稲や田んぼの周りの自然に子ども達もより興味を持ち、感じた事や不支持に思った事を共感しようと言葉にする様子があった。また絵本ホールの図鑑やパソコン、iPadを使用し自分たちで調べてより追求し興味関心を広げている様子を見ることが出来た。この活動を通して、より子ども達の声に耳を傾けることが出来、自由な発想や子どもならではの考えをたくさん発見することが出来た。また、自然があって作物も生長していくことや、自然は季節で様子が変わっていくということを、より子ども達も実感することが出来たのではないかと思う。今までは食育というところを意識していたが、その周りにある環境にもこれからも気付いて行けるように声掛けをしていきたい。